

FUTURE EVENT 01 「榊原澄人～記憶の羅針盤～」
関連イベント

オープニングパーティー
2017年9月18日[月・祝] 16:40-
場所:名古屋芸術大学西キャンパス アート&デザインセンター

特別講義「アニメーション映像論」
2017年9月19日[火] 16:40-18:10

場所:名古屋芸術大学西キャンパス B棟大講義室
映像作品を制作し始めた頃から現在に至るまでの活動をレクチャーいただきます。
どなたでもご参加いただけます(入場無料)。

「ループアニメーションワークショップ」
2017年9月20日[水]-22日[金] 13:10-16:20

対象:本学学生 10名
ループするアニメーションを作成します。

「バラバラ漫画ワークショップ」※オープンキャンパス開催
2017年9月30日[土] 13:00-14:30

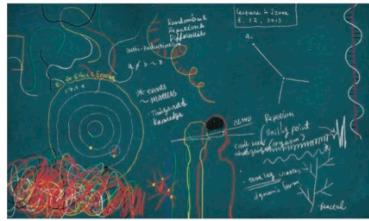
対象:高校生 10名
バラバラ漫画でアニメーションを作成します。 一般見学可

FUTURE EVENT 02 「グルーヴィジョンズ展」
関連イベント

オープニングパーティー
2017年10月28日[土] 予定
場所:名古屋芸術大学西キャンパス アート&デザインセンター



2014年4月号イラスト:白根ゆんたぽ + groovisions
《Metro min.》2009年～



榊原澄人(Blackboard) 2013年



榊原澄人(神谷通信) 2004年



groovisions (ideainkシリーズ 朝日出版社) 2012年～

Open 12:15-18:00 (最終日は17:00まで) 日曜休館 入場無料 どなたでもご購入いただけます。
スケジュールは変更になる場合がありますので、ご確認ください。

- 9/18 9:30 → 10/1 日 2017年度アート&デザインセンター企画展「榊原澄人～記憶の羅針盤～」
- 10/4 9:30 → 10/11 日 洋画1コース3・4年展 / 彫刻クラス展
- 10/13 9:30 → 10/18 日 洋画2コース4年五人展 / 書道アート展4
- 10/20 9:30 → 10/25 日 遭遇するドローイング:ハノファー & 名古屋2017
- 10/28 9:30 → 11/8 日 2017年度アート&デザインセンター企画展「グルーヴィジョンズ展」
- 11/10 9:30 → 11/15 日 アーッ! ラジオ2017 / 洋画2コース3年生展
- 11/17 9:30 → 11/22 日 幼稚園児たちのゲイジツ2017 / Hand Hospeace 医療と美術2017展
- 11/24 9:30 → 11/29 日 MCD department 2017
- 12/1 9:30 → 12/6 日 メディアデザインコース展
- 12/8 9:30 → 12/13 日 洋画コース2年生2コース 展覧会
- 12/15 9:30 → 12/20 日 こどもの空間 絵本と家具 / 2017年度後期留学生展
- 1/5 9:30 → 1/10 日 ガラス・陶芸コース2・3年生合同展覧会
- 1/12 9:30 → 1/17 日 日本画3年コース展 / 録の写真展
- 1/19 9:30 → 1/24 日 K-109展:版画研究室開設30周年展 / Academic Melting Pot "ソノミティ"
- 2/17 9:30 → 2/25 日 第45回名古屋芸術大学卒業制作展

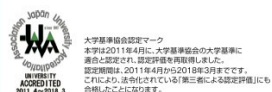
編集後記
大学時代をここ、名古屋で過ごしました。今は無き美術文化学科で美術史を学び、学芸員資格へ行き、懐かしい思い出がたくさんある古巣へ通勤していることが数ヶ月たつとも不思議な気持ちです。A&Dセンターで展示をする学生を見て、当時の自分と比べてみんな頑張っているなあと微笑ましい気持ちで見守る毎日、振り返れば10年はあるという間、今より早い時はありません。後悔は字のとおり後にするものですが、限りある時間を過ごす学生たちには、一日一日を悔いなく楽しんでほしいと思っています。

市原南雄(アート&デザインセンター)



最寄り駅:交通機関をご利用の場合
名古屋駅(地下鉄)南線南線乗り入れ駅:名古屋駅下車南東西へ約1,000m徒歩15分
※休日・第一急行電車の場合は名古屋駅で最寄り駅へ乗り換えが下車してご利用ください
半田駅(地下鉄)南線南線乗り入れ駅:半田駅下車徒歩約10分
西春駅から北西約2,200m徒歩25分、西春駅からはタクシーの乗り場もあります

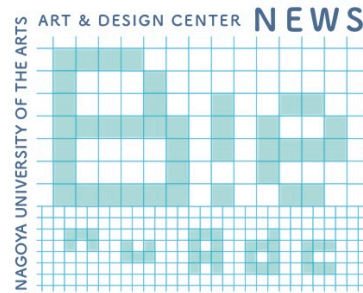
自家用車をご利用の場合
名古屋駅西口から約1,000m、名神中環インターから15分



名古屋芸術大学 Art & Design Center
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西26番地 TEL.(0568)24-0325 FAX.(0568)24-2897

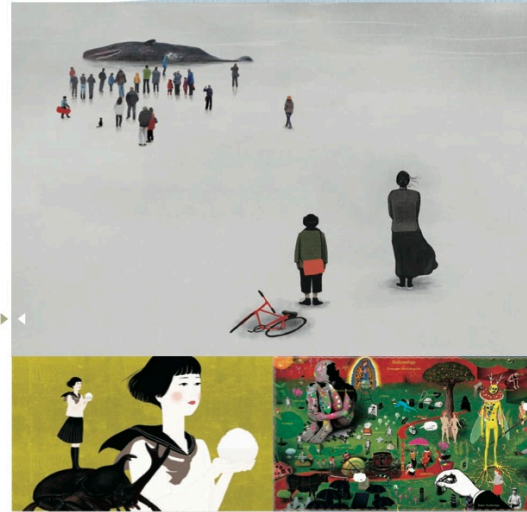
Ble Vol.47
発行日 2017年8月25日

編集・発行 名古屋芸術大学アート&デザインセンター
〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西26番地 E-mail adoc@nua.ac.jp URL http://www.nua.ac.jp
2017 Printed in Japan © Art & Design Center, Nagoya University of Arts デザイン/印刷 サンメッセ株式会社



今年度の名古屋芸術大学アート&デザインセンターでは、「榊原澄人～記憶の羅針盤～」と「グルーヴィジョンズ展」の二本の展覧会を開催します。
どのような手法で相手に自分の考えを伝えるか、クリエイターにとって表現力や発想力はとても大切なことです。映像とデザインという2つのアプローチから、それぞれの道で活躍するプロの方々の頭の中を少しだけ覗かせてみましょう。

二大企画展アートとデザイン



(groovisions highlight) 2015年

榊原澄人
sumito sakakibara

- | | |
|---|---------------------------|
| 1 | 1 《É in Motion No.2》2013年 |
| 2 | 2 《Native Dancer》2013年 |
| 3 | 3 《ウェホマ族の神話》2013年 |

グルーヴィジョンズ
groovisions

作家紹介: 榊原澄人 さかきばら・すみと
1980年生まれ、北海道浦幌町出身。幼少を北海道十勝で過ごし、15歳で渡英後、文化庁海外派遣生を経て、Royal College of Art(英国王立芸術大学院大学)/MA Animation科を卒業。2006年La Maison des auteurs(フランスアンクレーム市)、2007年韓国Sai Comicsのアートディレクションを経て、現在長野を拠点に作品を制作している。

作家紹介: groovisions グルーヴィジョンズ
1993年に京都で設立、PIZZICATO FIVEのステージヴィジュアルなどに注目を集める。1997年東京に拠点を移動、以降の主な活動として、リップスティムやFFRなどのミュージシャンのCDジャケットやPVのアートディレクション、豊田地域や豊林水産省の映像資料でのモーショングラフィック制作などが挙げられる。

榊原澄人さん(1980-)は北海道出身、長野県在住の映像作家です。昨秋清須市はるひ美術館にて初の美術館個展である「永遠の変身譚(メタモルフォーシス)」が開催されました。細長い展示室を大いに生かし、右から左へと絵巻物のように映像が流れていく作品は、画面のあちこちでそれぞれの人物が息づき、動き回り、移り変わる時の流れが静謐なたたずまいを感じさせ、いつまでも見入ってしまう深い世界観を持っていました。今回は映像インスタレーションを中心とし、制作時の資料やアイデアスケッチなども併せて榊原澄人さんの世界をご紹介します。



(chappie) 1994年

「groovisionsはデザイングループとしてグラフィックを中心に、音楽、出版、プロダクト、ファッション、ウェブなど様々な領域の作品を手がけています。1993年に京都で活動をスタートさせ、1997年には東京に拠点を移し、ミュージシャンのCDジャケットやPVのアートディレクションを行い、注目を集めるようになっていきます。設立当初にデザインされた「chappie」というキャラクターは歌手としてCDデビューしたり、企業などのイメージキャラクターとして、近年ではアプリがリリースされたりと多岐に渡る活動をしています。そんな「groovisions」の仕事を選びずりに展示します。



2017年度 芸術学部美術領域アートクリエイターコース
アート&デザインセンター企画展
「榊原澄人～記憶の羅針盤～」

会期:9月18日(月+祝)～10月1日(日)
開館時間:12:15～18:00
会場:アート&デザインセンター
会期中無休、観覧無料

《É in Motion No.2》2013年

アニメーションで世界を編む人 榊原澄人

榊原澄人さんを知ったのは10年足らず前。私はアニメーションのことは全くの素人で、ただ面白そうなジャンルだなという程度の認識だったが、彼が25歳で発表した作品《浮樓(ふろう)》を見て衝撃を受けた。

ある女性の生まれてから死ぬまでの一生が、8人の人物が次々と変身していくことで表されている。セリフはないけれど、画面上を行き来する人物の動きを目で追っていくと、赤ん坊が少女に成長し、恋する乙女になり、結婚して母となり、背中を丸めた老婆となって去っていくまでの物語が展開していることに気づく。しかも物語はエンドレスである。画面を絶え間なく循環する人と時間の流れ(フクロウ)は、太古から繰り返されてきた親から子への命の受け渡しをも想起させる。作品を貫く、人間の営為をとらえる大局的な視点と、8人の一見バラバラな動きを画面上できっちりと噛み合わせる緻密な計算に、私はすっかり魅了された。

以来、私は榊原さんの新作が展示されれば見に行くのを楽しみにし、作品に圧倒されては、いつかきちんと紹介したいと思った。そして昨年の秋、念願叶って彼の個展を清須市はるひ美術館で企画する機会に恵まれた。

準備段階で、彼は会場図面を一瞥するなり展示空間の特性を見抜き、どこに、どの作品を、どのような手法で上映するよいかをすくさま割り出した。優れた作家というのは、展示スペースに合わせて、見せ方も最大限に工夫できるものだ。また、彼は新たな映像機器や技術の使用にも意欲的で、初めての挑戦にも「できるはず。」と言って動かない。構想を実現するためには時に他人の力も借りねばならないが、魅力的な作家の周りには素敵な仲間が集うもので、上映機器の選定や進行の管理、プログラミングなど、大いに協力してもらった。彼らなくしては展覧会の開催は覚束なかったであろう。

《浮樓》以降、榊原さんの作品はより独創性を深め、これまでのアニメーションの概念を覆すようなスケールの大きな世界を生み出している。その作風は、まるでアニメーションで世界を編んでいるかのようだ。

嬉しいことに、この秋アート&デザインセンターにて彼の全容を紹介する展覧会が開かれると聞く。創造することに対してこんなにも真摯な作家の作品を、どうか見逃さないでほしい。

喜田早菜江(元 清須市はるひ美術館学芸員)



《É in Motion No.2》2013年



《神谷通雷》2004年



《浮樓》2005年



《Native Dancer》2013年



2017年度 芸術学部 デザイン領域ヴィジュアルデザインコース
アート&デザインセンター企画展
「グルーヴィジョンズ展」

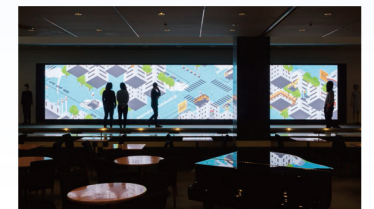
会期:10月28日(土)～11月8日(水)
開館時間:12:15～18:00(最終日のみ17:00まで)
会場:アート&デザインセンター
会期中無休、観覧無料



イメージを統一することが、
デザイナーの個性となる

6月30日(金)、『groovisions』代表の伊藤弘さんをお迎えして特別講義が行われました。タイトルは「グルーヴィジョンズの仕事」。これまでに音楽や出版などの分野でアートディレクションを担当された仕事について、写真を見ながら語っていただきました。作風は二次元的でありながらも仕事の内容は多様な領域を横断し、幅広いデザインの展開力やデザインの楽しさ、デザインをもっと行われる社会とのつながりなど、わかりやすくお話しいただきました。

展覧会ではこれまでのグルーヴィジョンズの歴史をたどるとともに、ヴィジュアルコミュニケーションの新しい可能性を探ります。アンテナショップやカフェ、そして夏休みに伊藤さんを迎え行われたワークショップの成果物も併せてご覧いただけます。



展覧会「groovisions 5x27」/ groovisions, SPIRAL/Wacoal Art Center/ 2017
写真:伊藤徹也 画像提供:スパイラル/株式会社ワコールアートセンター



《MUJI TO GO 良品計画》2012年



《100% ChocolateCafe. Meiji》2004年～



6月30日 特別講義風景